

ストラテジーブレティン (354号)

楽観論のすすめ

～楽観論には道理があり、人を幸せにする～

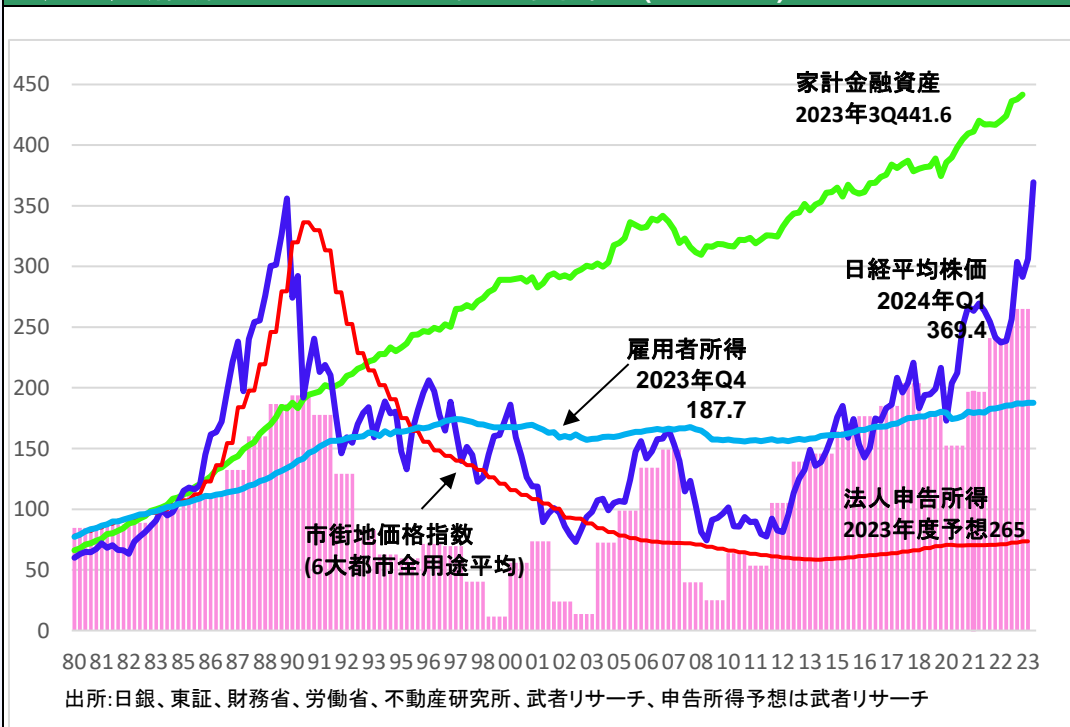
日本経済新成長時代入りの確信

日経平均が史上最高値を更新し、新しい時代が始まるという予感が高まってきました。九州熊本を先頭にした半導体投資ブーム、過去最高の伸びを続ける設備投資、インバウンドの急増、30年ぶりの高い賃上げ率と深刻化する人手不足、マンションの価格上昇、日銀による異次元金融緩和政策の解除、などの過去30年間には見られなかった変化が相次いで起きています。日本が円高デフレで苦しんだ長期停滞からやっと抜け出し、新たな好循環に入りつつあることは、今やすべての国民の前に明らかになっているのではないのでしょうか。

こうなることは10年前、アベノミクスが始まった時から私には見えていたことでした。2009年の『日本株大復活』、以降ほぼ毎年のように本を上梓しましたが、そのすべては悲観論との闘い、日本株式の長期上昇を訴えたものでした。当時の時流からあまりにもかけ離れていたため、メディアからは無視され続け、本もあまり売れませんでした。楽観論の正しさを墨守する種火だけは、絶やさず燃やし続けて来られたのではないかと自負しています。

2013年4月に発売した『日本株100年に一度の波が来た』では「日経平均4万円のシナリオに5つの根拠がある」として、①日本株は極端に割安である、②アベノミクスが長期円高不況を終わらせる、③アメリカは対中封じ込め政策に転換し、日本経済復活のため円安をサポートする、④アメリカ経済の本格拡大により世界経済の回復基調続く、⑤日本の品質とコスト競争力の強さが顕在化する」と主張しました。

図表1: 長期停滞から立ち上がる日本の主要指標 (1984=100)



株式会社 武者リサーチ

代表

武者 陵司

E-mail: musha@musha.co.jp

www.musha.co.jp

〒108-0075

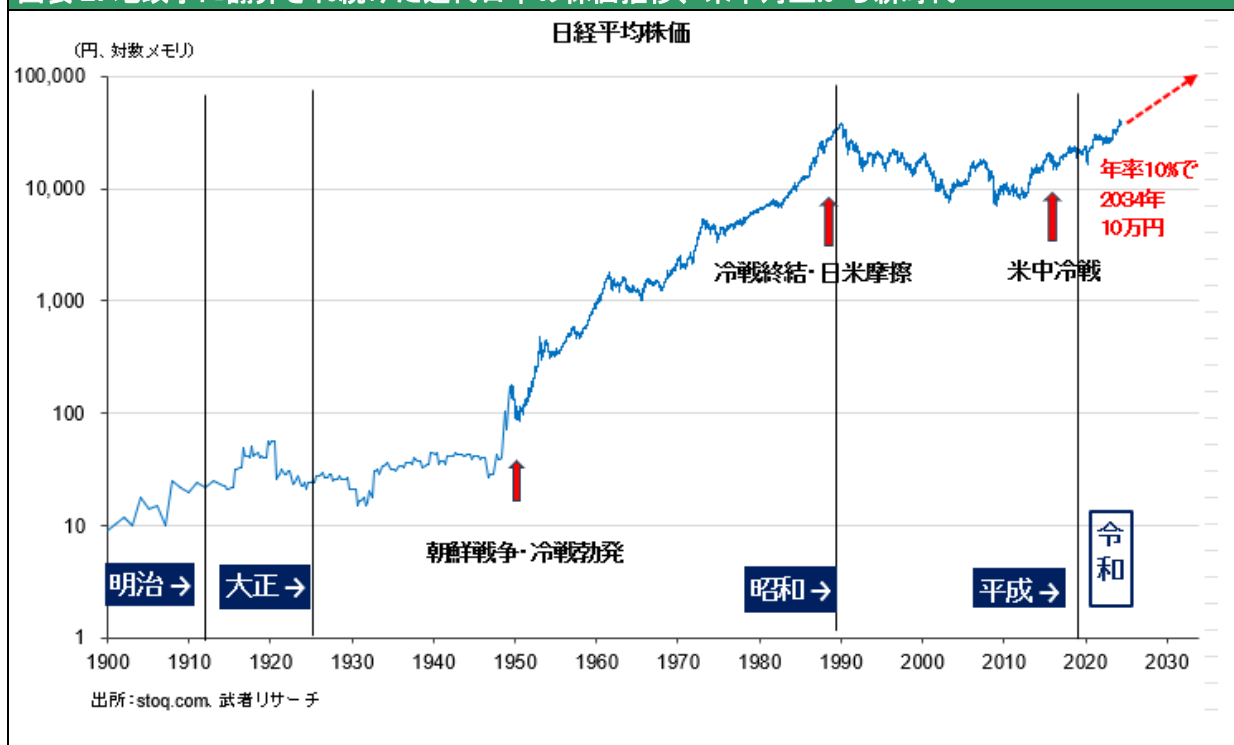
東京都港区港南 2-16-7

日本復活を決定づけるものは地政学、米中対立

あと一つ主張し続けたことは、米中対立により日本の運命が変わるということです。2011年『失われた20年の終わり～地政学で見る日本経済』、2017年『結局勝ち続けるアメリカ経済、一人負けする中国経済～漁夫の利を得る日本』、で米中の覇権争いが始まり、日本の加勢を必須とするアメリカが手の平を返したように日本を優遇し、円安をサポートするということです。そうした主張は日の出の勢いにある中国ブームの中では、反中に凝り固まった右翼のように思われたことでしょう。

今から30年前1993年『アメリカ 蘇生する資本主義』を著しました。米国経済が復活しバブル経済に酔いしれている日本は困難に陥るといふものです。それはニューヨークダウ3000ドル台、日経平均2万円前後の時でした。このように自分の過去の実績を言い立てるのは気恥ずかしくもありますが、そこに将来を正しく予見できるヒントがあると考えあえて披瀝しました。

図表 2: 地政学に翻弄され続けた近代日本の株価推移、米中対立から新時代へ



因果関連を知らなければ何もわからない

世の中の専門家や多くの知恵者の予想がなかなか当たらないのは、当てるための段取りを踏んでいないからです。予測するために必要なことは、何故こうなったのかの原因を探る謎解きです。何が理由でこうなったのかと言う因果関連が分かれば、今こういう原因があるから将来こうなるという事も予想できます。現在は過去の結果ですが、現在が原因となって将来が形作られるのです。この流れの中ですべてを考えれば、将来予想の的中度は大きく高まるはずで

検証をしているうちに、だいぶ前から経済学の理論だけでは把握できない現象に気づきました。それが、地政学が経済に与える影響です。日本が戦後大復活したのも、「Japan as Number 1」の座から転落したのも、このところの円安も、はたまた日経平均株価が史上最高値を更新し4万円を超えたのも、すべてこの「地政学」が影響しています。具体的にいうと、米中対立に直面して、アメリカが日本を“強い味方”にするという戦略を明確化させたからです。「地政学」というのは、長い歴史に裏付けされた人間と国家の思惑の解析です。つまり古今東西、政治のメカニズムと経済のダイナミズムとは切っても切り離せない関係です。地政学が原因となって新しい経済のパラダイムが作られていくのです。そうしたパラダイム変転の際には、安定している仕組みの中に反対物が生まれ不安定化し、この対立物が統一される(止揚される)ことで新たな枠組ができるという、弁証法の考え方が不可欠です。

価値創造メカニズムの分析が鍵である

将来を作る種は細部に宿ります。変化は大局からではなく、個別具体的事柄からおこり始めます。マクロだけを見ては変化を見落とすこととなります。一番大事な細部は企業における価値創造です。企業が価値を作れなければ、給料も払えず投資もできず、経済は前に進みません。経済が興隆するときも衰弱するときもまず企業の価値創造が健全かどうかを決め手になります。

DNA を形成する職業倫理、エートスの洞察が不可欠だ

また私たちは歴史上の最も偉大な選手、超一流の投手であり超一流の打者を兼ね備えた大谷選手を目の当たりにしていますが、これほどの偉大な人物がなぜ日本に生まれたのかも、有益な洞察です。体力、素材としてはもっと恵まれている人がいるはずのアメリカではなくなぜ日本に? 金銭にも世間の評判や名声にも目もくれず、ひたすら野球と言う職業の完遂を求める精神は、日本がもたらしたものと思われまます。そして大谷選手と同様のメンタリティをもった日本の若き職業人は沢山います。今は日本の研究費が削減され研究開発で米国や中国の後塵を拝していても、日本人の職業倫理、エートス(生活態度)が世界一級であることは、誰しも認めるところです。鉄道時間の正確さ然り、落とし物を警察に届ける律義さ然り、チーム優先で我を抑える謙譲の精神然り、この精神があるからこそ歴史的バブル崩壊と異常に長い経済停滞の下でも、日本企業は地道なビジネスモデル転換がなしたのだと思います。

明るい将来 VS 超割安な株式バリュエーション

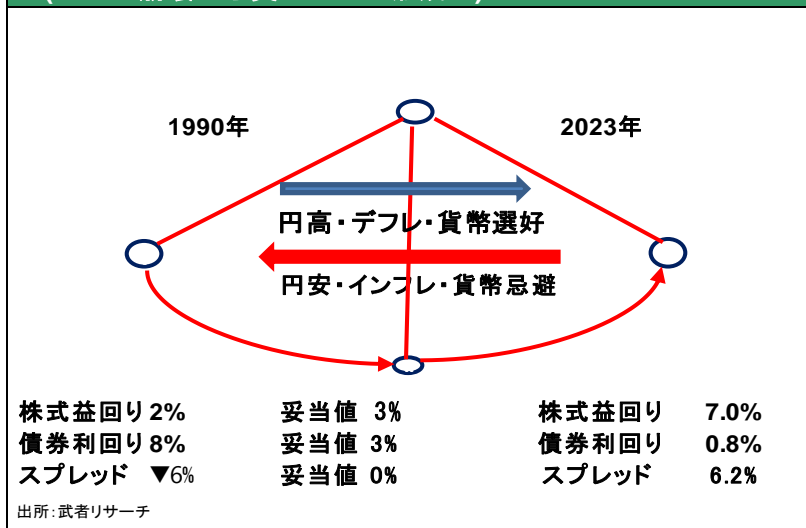
以上のような筆者独自のチェックポイントによって検証し、仮説を構築すれば日本の将来がとてつもなく明るいものになることは明らかです。過去 10 年ほど、日本の将来は一番楽観的な方が考えるよりもっと明るい、と言いつけてきました。

今こそ楽観論の大切さを知っていただきたいという思いから、5月26日に『日本株の歴史的な大相場が始まった!』を WAC より刊行いたしました。本書をお読み頂ければ、今私たちが実感している望ましい変化は、日本と言う国が大きく生まれ変わる予兆であるのだ、と言うことをご理解いただけるはずです。日本の株価は年内5万円もあり得ますし、早ければ5年、遅くとも10年後には10万円になることを私は疑っていません。

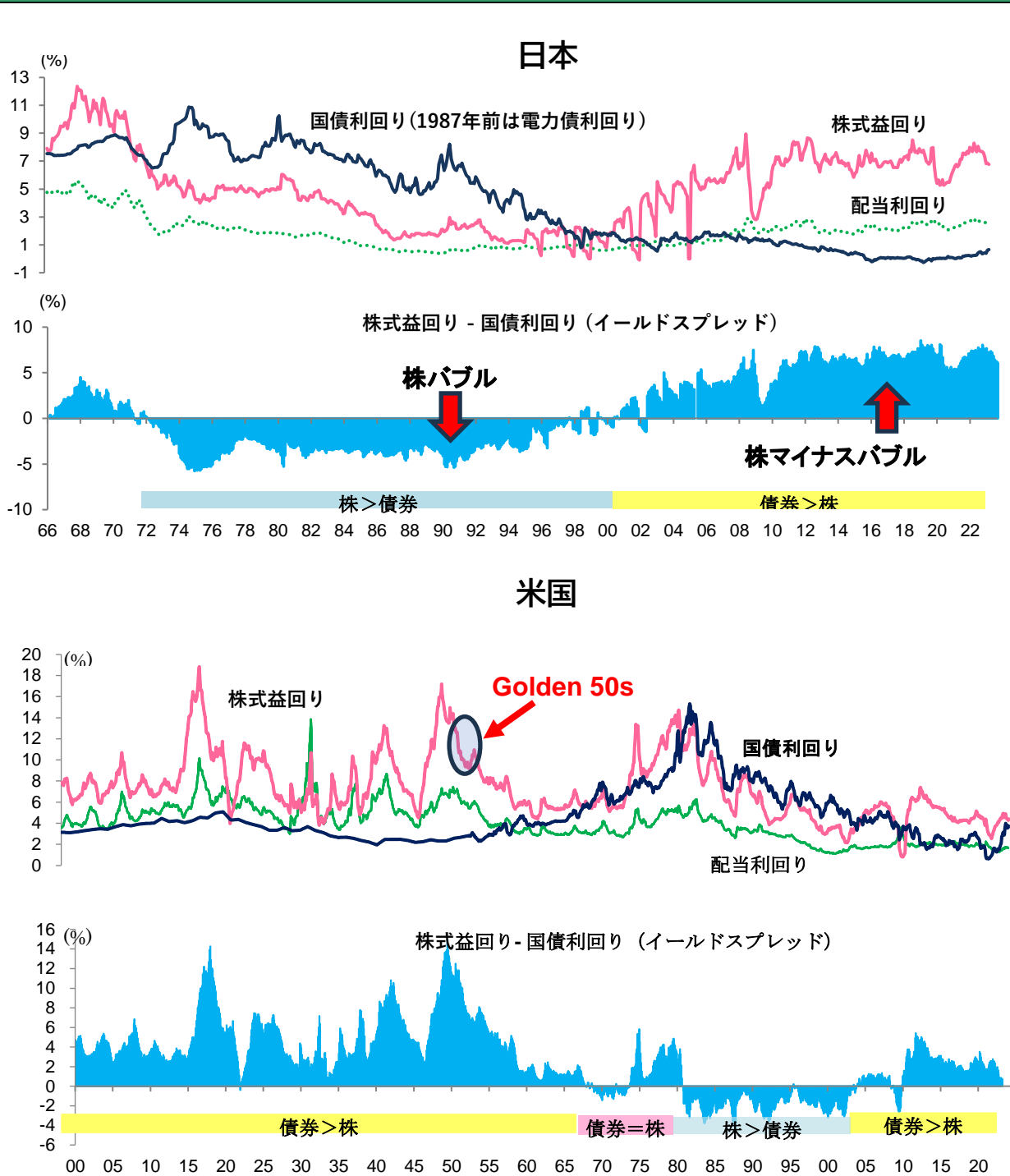
さてそのような明るい将来が待っていることに同意いただいたとして、読者の皆様はどのように行動すべきでしょうか。当座に必要な資金のかなりを株式に振り向けるべきでしょうか。日本株のインデックス投資を続けることで10年の間に財産を何倍かに増やすことができるでしょう。

他方で外れ続けている悲観に与して、安易に預金で資産を運用すれば5年経っても10年経っても1は1のまま、極端な財産形成の差が生まれるのです。株式投資で運命が分かれる、と言うことは決して誇張ではありません。この輝かしい時代において皆様が投資に大きな成果を収め、人生を切り開くことを願っています。

図表 3: 極から極へと振れた日本株式バリュエーション
(バブル崩壊から負のバブル形成へ)



図表 4: 日米の株式益回り、配当利回り、国債利回り、イールドスプレッドの推移



出所: Robert Shiller, ブルームバーグ、武者リサーチ

著作権表示©2023 株式会社武者リサーチ

本書で言及されている意見、推定、見通しは、本書の日付時点における武者リサーチの判断に基づいたものです。本書中の情報は、武者リサーチにおいて信頼できると考える情報源に基づいて作成していますが、武者リサーチは本書中の情報・意見等の公正性、正確性、妥当性、完全性等を明示的にも、黙示的にも一切保証するものではありません。かかる情報・意見等に依拠したことにより生じる一切の損害について、武者リサーチは一切責任を負いません。本書中の分析・意見等は、その前提が変更された場合には、変更が必要となる性質を含んでいます。本書中の分析・意見等は、金融商品、クレジット、通貨レート、金利レート、その他市場・経済の動向について、表明・保証するものではありません。また、過去の業績が必ずしも将来の結果を示唆するものではありません。本書中の情報・意見等が、今後修正・変更されたとしても、武者リサーチは当該情報・意見等を改定する義務や、これを通知する義務を負うものではありません。貴社が本書中に記載された投資、財務、法律、税務、会計上の問題・リスク等を検討するに当たっては、貴社において取引の内容を確実に理解するための措置を講じ、別途貴社自身の専門家・アドバイザー等にご相談されることを強くお勧めいたします。本書は、武者リサーチからの金融商品・証券等の引受又は購入の申込又は勧誘を構成するものではなく、公式又は非公式な取引条件の確認を行うものではありません。本書および本書中の情報は秘密であり、武者リサーチの文書による事前の同意がない限り、その全部又は一部をコピーすることや、配布することはできません。